



▲「キャバレー・マルタマ」昭和22年

キャバレーも美女を相手にコーヒートークで接待するという珍妙なことになったのです。こうした現象は「料飲再開」がされる24年5

月まで続きました。今年、傘寿を迎えられたドウトンビル社長の田中清三さんに話を聞くと、「親父(清二郎氏)は、道頓堀一丁目6番15号、戎橋南詰から2軒目、道頓堀の入口という、この場所にはずいっと愛着を持っています。かつての「ニューオオサカ」跡地には関心がありませんでした。戦後、無秩序の時代に、そこは伊藤某氏が占拠し、その後どういいう経緯で「梅田明月館」や「半田屋」の手に渡ったのか、その間にも経営者は色々変わりましたが、定かではありません。」

昭和22年、社会党の片山内閣が発足するや「飲食営業緊急措置令」が公布され、正常な配給ルートによらない高級料理店の閉鎖が命じられた。

「まずキャバレーから食とイロケは、盛り場には切っても切れない。道頓堀で先ず戦後復興の先陣を切ったのは、故田中清二郎氏である。清二郎さんは、戦前、旧道頓堀東映前で「ニューオオサカ」という新興喫茶を開きます。旧半田屋さんから相合橋詰まである大きな西洋料理店でした。清二郎さんは、またキャバレー赤玉の故榎本正氏から譲り受けていた道頓堀の「グランドパレス」跡に昭和21年(1946)10月1日「赤玉会館」のち「ドミノ」を開場します。現在のドウトンビルです。」

「未亡人サロ」を考えたのは、千土地興行の七堂敏夫さんです。昭和25年(1950)大阪歌舞伎座(現、ビッグカメラ)6階に「ユメノクニ」のち「ブレイクタウン」を開業しました。未亡人とはいえ、20歳そこそこ。七堂さんの宣伝文句と際どいサイバーが受けました。その頃、ホステスの人件費はインフレとともに天井知らず。そこで「マルタマ」の木下一郎さんは考えました。OLを主体とした「アルバイトサロン」です。」

「アルバイトサロン」です。戦争で主人を失い、焼け出された子供を抱えた婦人は、明日の糧を得るために、都会では進駐軍専用のキャバレーのホステスとなり、「未亡人サロ」で働いた人もいました。「未亡人サロ」を考えたのは、千土地興行の七堂敏夫さんです。昭和25年(1950)大阪歌舞伎座(現、ビッグカメラ)6階に「ユメノクニ」のち「ブレイクタウン」を開業しました。未亡人とはいえ、20歳そこそこ。七堂さんの宣伝文句と際どいサイバーが受けました。その頃、ホステスの人件費はインフレとともに天井知らず。そこで「マルタマ」の木下一郎さんは考えました。OLを主体とした「アルバイトサロン」です。」

「現」RAウインス道頓堀」もかつてはアルサロ「リンドン」として、店は連日繁盛しました。アルサロの店が増え、ホステス不足になり、人件費が急騰します。

●「食堂ビル・ドウトン」誕生 清三さんも考えました。「道頓堀で時代に流されず、老いも若きも楽しめる商売をしたい」。それは食堂です。

昭和28年当時、道頓堀は西から東へ、大松松竹座、浪速座、中座、角座、文楽座と立派な劇場が並んでいました。「よーし、同じやるなら、それに負けない立派な食堂ビルを建てよう」。屋号は「食堂ビル・ドウトン」です。設計・監理は日本を代表する文化勲

本町辺りの銀行員や百貨店の女性に応募してきました。大体、月給で月6千円位。当時のOLの平均月収は月3千円程度ですから、応募が殺到したそうです。

道頓堀川から見る食堂ビル・ドウトン 昭和40年

章受章の建築家・村野藤吾先生です。昭和30年(1955)5月、道頓堀に地下1階、地上8階のビルが建ちました。35年、「食堂ビル・ドウトン」は10階建てに増築。30年代の道頓堀は、西から東へ日本橋まで、500mの通りには、飲食店が大小織り交ぜ約50軒ありました。未だテレビが高根の花の時代、映画館が全盛で、西から松竹座、大阪東映劇場、道頓堀日活とありました。

昭和40年代、高度経済成長に入り、45年(1970)千里で万博が開かれ、その頃から外食産業はもの凄い勢いで基幹道路に進出してきます。外食産業にとって、道頓堀の二等場所に出ることは大きなステータスとなり、ドウトンビルはテナントビルとして生きてきました。道頓堀にも、食堂ビルが林立していきます。

昭和37年(1962)かに道楽本店開業 41年 づぼらや道頓堀店開店 41年 焼き肉「昌慶」道頓堀店開店 43年 食堂ビルとんぼりたし開店 57年 平松扇屋ビル竣工 57年 雛鶴ビル竣工 (広報：吉田利照)

道頓堀川万灯祭

おかげさまで1250灯を超えました!

献灯にご協力賜りました皆様には厚く御礼申し上げます。7月1日(水)には点灯セレモニーをとんぼりリバーウォーク・南岸(かに道楽本店北側)で、夕方7時より実施します。点灯カウントダウンは、7時15分くらいから、多数のご来場をお待ちしています。

道頓堀商店会報

http://www.dotonbori.or.jp

7月号(2015 6.27 No.117)

道頓堀商店会事務局

〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764
発行人：今井 徹 編集：広報委員会(吉田)

世界最大の盆おどり

日本を代表するエンターテインメントの街「道頓堀」だからこそ、この道頓堀盆おどりを通して外国の方にも日本の夏を伝えたい。世界最大規模の盆踊り大会を実施してギネス世界記録認定へ。道頓堀盆おどりインターナショナルにより、さらに世界の道頓堀へ!



2015 道頓堀盆おどり 8.16日 17:00~21:00
http://www.dotonbori.or.jp/

道頓堀盆おどりを成功させよう。道頓堀盆おどりインターナショナル2015

2015年は道頓堀川開削400年。日本中、世界中から人びとを集め、3000人の踊り子でギネス世界記録に挑みます。道頓堀盆おどりは世界一、BON-DANCEの聖地をめざします。皆様のご支援ご協力をお願いします。

日時：8月16日(日) 17:00~21:00
場所：とんぼりリバーウォーク「道頓堀橋(御堂筋)〜日本橋(堺筋)」
参加要項は「道頓堀盆おどりインターナショナル2015」のホームページへアクセス!!
http://www.dotonbori-bon-dance.jp



▲6月25日に開催された記者発表会。ギネスに挑戦する盆おどりの歌と踊りが披露された。嘉門達夫さんの「道頓堀へいらっしやい音頭」に合わせて、OSK日本歌劇団の皆さんが踊る。踊りの振付は上記HPをご覧ください。



詳しくは、チラシをご覧ください。

道頓堀500(GOマルマル)

「これでええんか、とんぼり!?!」を開催します。

「道頓堀川開削400年」の次の100年後を考える委員会「道頓堀500」その最初の集会を開催します。講師は、まちづくりコンサルタント東京英明氏。「地域の魅力を長く維持する工夫ってなに?」をテーマに、国内外の最新事例を紹介しながら、道頓堀の本当の魅力を探ります。

そのあと、道頓堀の現状とこれらについて参加者みなさんで意見交換します。

店やビルのオーナーさん、店長に、店員さん、会員でない方もぜひご参加ください。

道頓堀について、いっぺん、とんぼり合いまじりましょう!

日時：7月17日(金) 14:00~16:30
場所：難波御堂筋ホール9F-A (中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング)

2015年 7月の行事予定

- 1(水) 道頓堀川万灯祭点灯セレモニー 19:00~
- 2(木) 水辺利用検討委員会 10:00~ 南海電鉄
- 8(水) 道頓堀自転車チャリティイベント(道頓堀オーブンカフェ社会実験) 13(月) 四商店会合同パトロール 18:00~ 戎橋交番前
- 10(金) 四商店会合同パトロール 18:00~ 戎橋交番前
- 11(土) 大阪ミナミ400年祭 本祭 11:00~20:00
- 12(日) とんぼりリバーウォーク
- 14(火) 四商店街代表者会議 14:00~
- 14(火) 心齋橋筋商店街振興組合 14:00~
- 17(金) 道頓堀500 14:00~
- 17(金) 難波御堂筋ホール9F-A ミナミ飲食街環境浄化推進協議会連絡会議 14:00~ 南署
- 21(火) とんぼりリバーウォーク 賑わい創出連絡会 10:00~ スポタカ
- 23(木) 消防訓練 14:00~ 相合橋
- 24(金) 四商店会合同パトロール 18:00~ 戎橋交番前
- 25(土) 天神祭(文楽船乗り込) とんぼりリバーウォーク
- 27(月) 道頓堀500委員会 13:00~ 事務局
- 七月度定例役員会 15:30~ 事務局